

**製品名: FADD ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe85554**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.62mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 23 kDa; Observed MW: 28 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FADD
別名	Mort1/FADD
遺伝子 ID	14082.0
SwissProt ID	Q61160
免疫原	マウス FADD の合成ペプチド

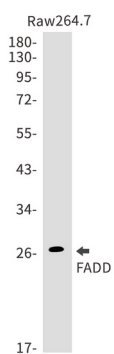
**背景**

活性化 Fas (CD95) または TNFR-1 受容体にカスパーゼ 8 またはカスパーゼ 10 をリクルートするアポトーシスアダプター分子。結

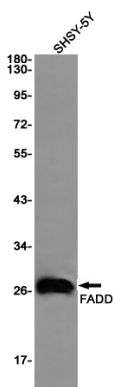
果として生じる細胞死誘導シグナル伝達複合体 (DISC) と呼ばれる凝集体は、カスパーゼ 8 のタンパク質分解活性化を引き起こす。活性化カスパーゼ 8 は、アポトーシスを媒介するカスパーゼのカスケードを開始させる。インターフェロンを介した抗ウイルス免疫応答に関与し、インターフェロンシグナル伝達の正の調節に役割を果たす。

## 研究分野

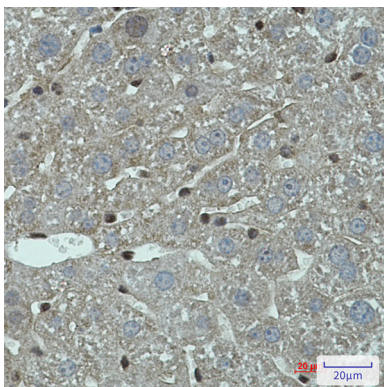
## 画像データ



FADD 抗体を使用した Raw264.7 溶解物中の FADD のウェスタン ブロット分析。



FADD 抗体を用いた SH-SY5Y ライセート中の FADD のウェスタンブロット分析



FADD 抗体を使用したパラフィン包埋マウス肝臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。